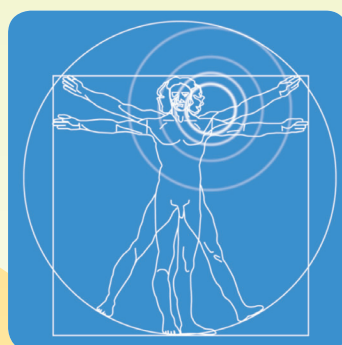


第30回

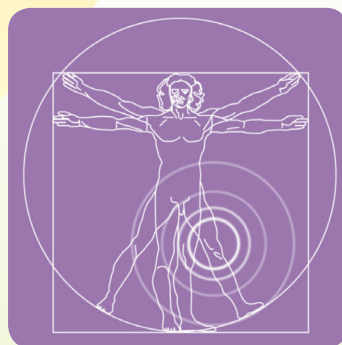
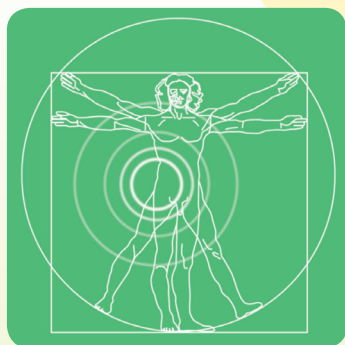
日本疼痛漢方研究会 学術集会

テーマ

筋および関節の痛みに対する漢方治療



プログラム



日時


2017年7月1日(土)
9:00 ~ 18:05

場所

東京コンファレンスセンター・品川
東京都港区港南1-9-36 アレア品川

会長

嶋田 昌彦
東京医科歯科大学
大学院医歯学総合研究科
口腔顔面痛制御学分野

共催：日本疼痛漢方研究会 /  株式会社 ツムラ

日本疼痛漢方研究会ホームページ：
<http://www.k-kenkyukai.com/toutsu/>

ご案内

1. 会場案内

東京コンファレンスセンター・品川

【A会場】5階『大ホール』

【B会場】5階『Conference Room 501』

2. 参加受付

【受付場所】5階「大ホール」（A会場）前ホワイエに受付を設置しています。

【参加費】会 員：5,000円（内訳；会員参加費2,000円、年会費＜平成29年度分＞3,000円）

非会員：7,000円（非会員参加費）＜当日入会可＞

当日、受付にて頂戴いたします。（学部生は無料）

※5階受付にクロークはございません。3階メインクロークをご利用ください。

3. 座長の先生方へ

ご担当のセッション開始予定時刻の15分前までに受付をお済ませください。

演題多数のため時間調整にご配慮いただきながら、活発な討議の誘導をお願い致します。

4. 演者の先生方へ

発表はすべて口演形式です。

《講演時間》

1) 特別講演：50分

5) シンポジウム：発表12分 質疑3分

2) 30周年記念講演：15分

6) 優秀賞ノミネート講演：発表 7分 質疑3分

3) 教育講演：30分

7) 一般講演：発表 7分 質疑3分

4) ランチョンセミナー：30分

《発表方法・発表データ》

発表方法について

・ご発表はパワーポイントによるデジタルプレゼンテーション（パソコン発表）にてお願い致します。

発表データ及びパソコン持込受付場所

・各発表セッション開始の30分前までに『PC受付（5階A会場前ホワイエ）』にて受付および動作確認を行ってください。

持込データについて

・お持込み頂く発表データは、『USBフラッシュメモリーまたはCD-Rのメディアお持込み』もしくは『ご自身のパソコンお持込み』のいずれかをお願いします。

・メディアをお持込みの方は、Windows PowerPoint 2007、2010、2013、2016で作成されたデータのみと致します。

※他のパワーポイントのバージョンでご発表される先生は、パソコンのお持込みにご協力ください。

・ご発表内容に動画、音声を使用される方、もしくは、Macintoshを使用される方は、必ずご自身のパソコンをお持込みください。

《利益相反の開示》

当日の発表スライドにて、発表演題に関連する利益相反の開示をお願いいたします。

開示内容、開示スライド雛形は、研究会HPに掲載していますのでご確認ください。

<http://www.k-kenkyukai.com/toutsu/gakujutsu/>

《諸注意》

・パソコンを持ち込まれる方は、必ずACアダプターを各自持参してください。

・ファイル名は「演題番号演者名.pptx」としてください。

・接続はD-sub 15ピン3列のコネクター（通常の外部モニター出力端子）となります。

パソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず事前に確認し、必要な場合は接続端子を持参してください。

● 学術集会スケジュール ●

A会場（5階「大ホール」）		B会場（5階「501」）	
開会の挨拶	9:00		
一般講演 1 《口腔顔面痛 1》	9:05	一般講演 3 《体幹部の痛み》	9:05
一般講演 2 《筋・関節の痛み》	10:05	一般講演 4 《各種の痛み》	10:05
休憩（5分）	11:05		11:05
特別講演	11:10		
休憩（10分）	12:00		
ランチョンセミナー	12:10		
休憩（10分）	12:40		
総 会	12:50		
30周年記念講演	13:05		
教育講演	13:20		
優秀賞ノミネート講演	13:50		
休憩（15分）	14:50		
シンポジウム 【筋・関節痛に対する 漢方薬の応用】	15:05		
休憩（5分）	16:05		
一般講演 5 《頭痛・口腔顔面痛 2》	16:10	一般講演 7 《腰下肢痛》	16:10
一般講演 6 《術後の痛み》	17:00	一般講演 8 《口腔顔面痛 3》	17:00
優秀賞表彰式	17:50		17:50
閉会の挨拶	18:00		
	18:05		

「第30回日本疼痛漢方研究会学術集会プログラム」

開会の挨拶

(9:00～9:05)

会長：嶋田 昌彦 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔顔面痛制御学分野)

■ A会場 一般講演1《口腔顔面痛1》

(9:05～10:05)

座長：別部 智司 (神奈川歯科大学 麻酔科学講座)

A-1) 漢方薬が奏効した非歯原性歯痛の4例

医療法人田北会 田北病院 歯科口腔外科¹⁾、奈良県立医科大学 口腔外科学講座²⁾

○川上 哲司^{1),2)}、岡澤 信之²⁾、山本 育功美²⁾、福辻 智¹⁾、桐田 忠昭²⁾

A-2) 支持的精神療法に加え、漢方薬を用いて管理を行った特発性歯痛の1症例

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科麻酔学分野¹⁾、みどり小児歯科²⁾

○岡安 一郎¹⁾、達 聖月¹⁾、鮎瀬 卓郎¹⁾、和気 裕之^{1),2)}

A-3) 非定型顔面痛・特発性歯痛に対して漢方薬が奏功した1例

鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター 口腔外科¹⁾、鹿児島大学病院 漢方診療センター²⁾

鹿児島大学病院 歯科麻酔科³⁾

○新田 英明^{1),2)}、山口 孝二郎^{1),2)}、杉村 光隆³⁾、杉浦 剛¹⁾、森永 明倫²⁾

網谷 真理恵²⁾、沖 利通²⁾、園田 拓郎²⁾、乾 明夫²⁾

A-4) 口腔顎顔面の多愁訴症例に漢方薬が奏効した1例

北海道大学大学院歯学研究科 高齢者歯科学教室

○尾崎 公哉、中澤 誠多朗、前 壮功仁、山崎 裕

A-5) 顎関節症に対する桂枝加朮附湯の効果

新潟県厚生連 上越総合病院 歯科口腔外科 桑原 徹

A-6) 顎関節症に対する漢方薬の治療効果の検討

京都第二赤十字病院 歯科口腔外科

○西川 正典、土井 亜祐、井坂 友紀、田中 章夫、猪田 浩理

■ A会場 一般講演2《筋・関節の痛み》

(10:05～11:05)

座長：佐藤 英俊 ((株)MAコーポレーション)

A-7) 遷延する膝痛に対する漢方薬の効果

みやにし整形外科リウマチ科¹⁾、平田ペインクリニック²⁾、織部内科クリニック³⁾

○宮西 圭太¹⁾、平田 道彦²⁾、織部 和宏³⁾

A-8) 乳がん治療に合併した多発性関節痛に対する漢方治療

神奈川県立がんセンター 漢方サポートセンター 東洋医学科 林 明宗

A-9) 漢方治療と鍼治療の併用が関節痛の緩和に有効であった成人スティル病の一症例

鳥取大学医学部附属病院 ペインクリニック外科

○稲垣 喜三、大槻 明広、青木 亜紀、遠藤 涼

A-10) エキス剤が効果不十分で煎じ薬が有効であった関節リウマチの1例

京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 整形外科¹⁾

京都府立医科大学大学院 運動器機能再生外科学(整形外科)²⁾

谷口 大吾^{1),2)}

A-11) 線維筋痛症に対する漢方治療で、冬季と夏季で使い分けて処方した症例について

社会医療法人 祐愛会織田病院 麻酔科 中平 圭

A-12) 「急激におこる筋肉の痙攣を伴う疼痛」に対する演者の漢方処方の使用経験

那須赤十字病院 整形外科 吉田 祐文

休 憩

(11:05 ~ 11:10)

■ B会場 一般講演3 《体幹部の痛み》

(9:05 ~ 10:05)

座 長：境 徹也 (佐世保共済病院 ペインクリニック麻酔科)

B-1) ストレスにより誘発された左季肋部痛に四逆散が奏効した1症例

福井県済生会病院 麻酔科¹⁾、福井勝山総合病院 麻酔科²⁾、金沢医科大学 総合内科学³⁾

○竹内 健二¹⁾、小原 洋昭²⁾、守屋 純二³⁾

B-2) 集学的診療外来を受診した原因不明の側腹部痛に漢方医学的アプローチが有効であった1例

大阪大学大学院医学系研究科 漢方医学寄附講座¹⁾、大阪大学医学部附属病院 疼痛医療センター²⁾

大阪大学大学院医学系研究科 疼痛医学寄附講座³⁾、滋賀医科大学医学部附属病院 ペインクリニック科⁴⁾

大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科⁵⁾、甲南女子大学看護リハビリテーション学部 理学療法学科⁶⁾

大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座 公衆衛生学⁷⁾、森ノ宮医療大学 理学療法学科⁸⁾

○中西 美保^{1),2)}、榎本 聖香^{2),3)}、安達 友紀^{2),4)}、井上 大輔^{2),5)}、西上 智彦^{2),6)}

山田 恵子^{2),7)}、野坂 修一⁸⁾、柴田 政彦^{2),3)}

B-3) オピオイド内服中のがん患者の腹痛に対して桂枝加芍薬湯が有効であった症例

星ヶ丘医療センター 緩和ケア科 川原 玲子

B-4) 妊婦の腹部痛に対して漢方薬(平肝鎮痙作用を有する方剤)を用いた治療経験

医療法人明珠会 札幌白石産科婦人科病院¹⁾、札幌医科大学 麻酔科²⁾

○武田 智幸¹⁾、谷垣 衣理¹⁾、明石 英史¹⁾、塚本 勝城¹⁾、鈴木 静雄¹⁾

杉尾 明香¹⁾、明石 祐史¹⁾、松本 日出男¹⁾、渡辺 廣昭²⁾

B-5) 竹筴温胆湯による少陽胆経を目標とした疼痛緩和の経験

医療法人お茶の水北洲会 三慶医院¹⁾、鹿児島大学病院 漢方診療センター²⁾、平田ペインクリニック³⁾

○新富 義侯¹⁾、園田 拓郎²⁾、平田 道彦³⁾

B-6) 非定形胸痛に駆瘀血剤を投与し有効であった2症例

みのりクリニック 齊藤 寛史

■ B会場 一般講演4 《各種の痛み》

(10:05 ~ 11:05)

座長：平川 奈緒美 (佐賀大学医学部 麻酔・蘇生学)

B-7) 足底腱膜炎に対する漢方薬の使用経験

榎田 学 整形外科クリニック¹⁾、平田ペインクリニック²⁾

○榎田 学¹⁾、平田 道彦²⁾

B-8) うつ病を合併する高齢女性の慢性肛門周囲痛に、集学的診療と漢方薬の併用が奏効した一例

大阪大学医学部附属病院 疼痛医療センター¹⁾、大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座 公衆衛生学²⁾

滋賀医科大学医学部附属病院 ペインクリニック科³⁾、大阪大学大学院医学系研究科 疼痛医学寄附講座⁴⁾

大阪リハビリテーション専門学校 作業療法学科⁵⁾、甲南女子大学看護リハビリテーション学部 理学療法学科⁶⁾

大阪大学大学院医学系研究科 漢方医学寄附講座⁷⁾

○山田 恵子^{1),2)}、安達 友紀^{1),3)}、榎本 聖香^{1),4)}、井上 大輔^{1),5)}、西上 智彦^{1),6)}

中西 美保⁷⁾、柴田 政彦^{1),4)}

B-9) 桂枝茯苓丸エキス合当帰芍薬散エキスで改善した月経困難症の症例

盛岡友愛病院 漢方外来¹⁾、同 麻酔科²⁾

○大関 潤一¹⁾、奈良 範子^{1),2)}

B-10) 「患者の状態を改善する漢方治療」＋「病気に対する西洋医学的治療」で有用だった3症例

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 麻酔・疼痛制御学

○湯澤 則子、伊藤 恭史、大石 正隆

B-11) 脊髄障害性疼痛に漢方薬が有効であった3例

北海道大学病院 麻酔科

○藤井 知昭、森本 裕二

B-12) 肥厚性癬痕の痛みと痒みに漢方治療が奏功した1症例

鹿児島大学附属病院 麻酔科

○園田 拓郎、田代 章吾、大納 哲也、清永 夏江

■ A会場 特別講演

(11:10 ~ 12:00)

座長：嶋田 昌彦 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔顔面痛制御学分野)

『疼痛と非コードRNA』

日本医科大学大学院医学研究科 薬理学分野 鈴木 秀典

休 憩

(12:00 ~ 12:10)

■ A会場 ランチョンセミナー

(12:10 ~ 12:40)

座長：世良田 和幸 (戸塚共立リハビリテーション病院 麻酔科)

『微小循環障害による痛みの治療：血虚に対する疎経活血湯の応用』

東京医科大学病院 麻酔科 矢数 芳英

休 憩

(12:40 ~ 12:50)

■ A会場 30周年記念講演

(13:05～13:20)

座 長：嶋田 昌彦 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔顔面痛制御学分野)

『第30回日本疼痛漢方研究会学術集会を迎えて』

島根大学医学部 麻酔科学 齊藤 洋司

■ A会場 教育講演

(13:20～13:50)

座 長：平田 道彦 (平田ペインクリニック)

『難治性疼痛に対する漢方治療のコツ、次の一手～疎経活血湯を主軸にする腰下肢痛の治療～』

みつはたペインクリニック 光畑 裕正

■ A会場 優秀賞ノミネート講演

(13:50～14:50)

座 長：青山 幸生 (東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科)

N-1) 疼痛に対する芍薬甘草湯の応用疾患の多様性 - 速効性を活かすための使用法

岐阜県総合医療センター 産婦人科・漢方外来 佐藤 泰昌

N-2) 当院ペインクリニック科におけるエキス剤での疎経活血湯合十全大補湯(独活寄生湯の方意)による有効症例の検討

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター 麻酔・ペインクリニック科¹⁾、みつはたペインクリニック²⁾○松本 園子¹⁾、飯田 史絵¹⁾、三枝 勉¹⁾、今井 美奈¹⁾、中村 かな¹⁾、山口 敬介¹⁾、光畑 裕正²⁾

N-3) 難治性の器質的疾患と診断されたが漢方治療で気血水の異常を正すことにより改善した全身性筋関節痛の2例

玄気堂漢方内科クリニック 杉本 久

N-4) 「怒り・過敏」を呈する口腔慢性痛の漢方治療による心理尺度の変動について

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面機能再建学講座 口腔顎顔面外科学分野¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面機能再建学講座 顎顔面疾患制御学分野²⁾○鈴木 甫¹⁾、山口 孝二郎²⁾、新田 英明²⁾、杉浦 剛²⁾、中村 典史¹⁾

N-5) 末梢循環障害の痛みに漢方薬が奏功した2症例

はかたペインクリニック外科・麻酔科¹⁾、平田ペインクリニック²⁾○安田 哲二郎¹⁾、平田 道彦²⁾

N-6) 芍薬甘草湯の鎮痛効果

弘前大学 病態薬理学¹⁾、同 薬剤学²⁾○村上 学¹⁾、韓 冲(はんちゅう)¹⁾、板垣 史郎²⁾

■ A会場 シンポジウム【筋・関節痛に対する漢方薬の応用】

(15:05～16:05)

座長：濱口 眞輔 (獨協医科大学医学部 麻酔科学講座)

S-1) 整形外科疼痛管理における漢方薬の使用経験

沖縄県立中部病院 整形外科 普天間 朝拓

S-2) 顎関節および周囲組織の痛みに対する東洋医学的治療

鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター・口腔外科・漢方診療センター 山口 孝二郎

S-3) リウマチ・膠原病領域の疼痛に対する漢方治療～「医療学」の視点から

聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター 津田 篤太郎

S-4) 芍薬甘草湯による有痛性不快異常感覚抑制作用機序

富山大学大学院医学薬学研究部(薬学) 応用薬理学 安東 嗣修

休 憩

(16:05～16:10)

■ A会場 一般講演5《頭痛・口腔顔面痛2》

(16:10～17:00)

座長：林 明宗 (神奈川県立がんセンター 漢方サポートセンター 東洋医学科)

A-13) 漢方薬が奏効した慢性緊張型頭痛の1例

済生会横浜市南部病院 神経内科¹⁾、小菅医院・横浜朱雀漢方医学センター²⁾

○中江 啓晴¹⁾、草鹿砥 宗隆²⁾、小菅 孝明²⁾

A-14) 漢方薬が奏功した重症片頭痛の一例

身延山病院¹⁾、ヨシコクリニック²⁾

○原 典子¹⁾、高木 嘉子²⁾

A-15) ペインクリニック外来における釣藤散の使用経験

獨協医科大学医学部 麻酔科学講座¹⁾、宇都宮脳脊髄センター²⁾

○濱口 眞輔¹⁾、沼田 祐貴¹⁾、寺島 哲二¹⁾、北島 敏光²⁾

A-16) 皮疹のでない再発性単純疱疹による二次性三叉神経痛(第1枝)の1症例

田川市立病院 麻酔科 小山 稔

A-17) 漢方薬が奏功した三叉神経痛・舌咽神経痛を併発した1症例

北九州市立門司病院 ペインクリニック・東洋医学科 緒方 政則

■ A会場 一般講演6《術後の痛み》

(17:00～17:50)

座長：間宮 敬子 (信州大学医学部附属病院 信州がんセンター緩和部門)

A-18) 後腹膜腫瘍術後の遷延する痛みに対して治打撲一方が奏功した2症例

大阪市立大学医学部附属病院 麻酔科ペインクリニック科

○矢部 充英、河合 茂明、山碓 広之、舟尾 友晴、西川 精宣

A-19) 臀部軟部腫瘍摘出術後痛に対し東洋医学的加療を試みた1例

三重大学病院 漢方外来(麻酔科)¹⁾、三重大学病院 麻酔科ペインクリニック²⁾

○高村 光幸¹⁾、横地 歩²⁾、丸山 一男²⁾

A-20) 手術後に起きた痺れや痛みに対して漢方薬の投与及びYNSAを施行し、改善がみられた1症例

富士クリニック

○藤田 周一郎、藤田 素行

A-21) 外傷性頸部症候群に対する治打撲一方により、他剤を中止することが可能であった開胸術後疼痛症候群の1症例

ひだかペインクリニック 檜高 育宏

A-22) 胸部解離性大動脈瘤に対する手術を契機に発症した手指の痛み、しびれに疎経活血湯が有効であった1症例

仙台ペインクリニック 麻酔科¹⁾、涌谷町国民健康保険病院 東洋医学外来²⁾

東北大学 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター³⁾

○渡邊 秀和^{1),2)}、滝口 規子¹⁾、千葉 知史¹⁾、綿引 奈苗¹⁾、北村 知子¹⁾

堤 祐介¹⁾、山城 晃¹⁾、伊達 久¹⁾、関 隆志^{2),3)}

■ B会場 一般講演7《腰下肢痛》

(16:10～17:00)

座長：吉田 祐文 (那須赤十字病院 整形外科)

B-13) 腰部脊柱管狭窄症に対する西洋薬処方を漢方薬に変更後経過をフェーススケールで評価し得た高齢かつ認知症の1例

社会医療法人 鹿児島愛心会 開間クリニック 植田 俊夫

B-14) 腰部脊柱管狭窄症由来と思われた腰痛、下肢痛に疎経活血湯加味方が奏功した一例

田中医院¹⁾、清水医院²⁾

○田中 寿典¹⁾、清水 正彦²⁾

B-15) 腰部脊柱管狭窄症による坐骨神経痛に対して八味地黄丸が有効であった3症例

新松戸中央総合病院 麻酔科 中村 尊子

B-16) 参耆剤が有効であった壮年期の腰痛症の5症例

赤羽牧洋記念クリニック

○東儀 洋、三橋 牧

B-17) 瘀血の治療により、西洋薬から離脱できた腰痛の1例

医療法人社団みのる会 みのる整形外科医院 鈴木 太郎

■ B会場 一般講演8 《口腔顔面痛3》

(17:00～17:50)

座長：山口 孝二郎 (鹿児島大学病院 口腔顎顔面センター 口腔外科・漢方診療センター)

B-18) 帰脾湯証と診られる高齢者女性の舌痛症の1症例

トヨタ記念病院 歯科口腔外科

○牧野 真也、町田 純一郎、青木 義彦

B-19) 口腔内の痛みに漢方薬が奏効した症例

神奈川歯科大学 麻酔科学講座

○今泉 うの、別部 智司、吉田 和希

B-20) 持続性特発性顔面痛および口腔内灼熱症候群を有する患者に漢方薬が有効であった1症例

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔顔面痛制御学分野¹⁾

東京医科歯科大学歯学部附属病院 ペインクリニック²⁾

○新美 知子¹⁾、山崎 陽子²⁾、川島 正人²⁾、井村 紘子²⁾、細田 明利¹⁾
嶋田 昌彦^{1),2)}

B-21) 舌下免疫療法に伴う口内炎に対し、半夏瀉心湯が有効であった一例

松尾けんこうクリニック 松尾 兼幸

B-22) 排膿散及湯の塗布によるラットカラゲニン誘発歯周炎への抗炎症作用

大阪歯科大学 細菌学講座¹⁾、王医院内科²⁾

○王 宝禮¹⁾、王 龍三²⁾

優秀賞表彰式

(17:50～18:00)

閉会の挨拶

(18:00～18:05)

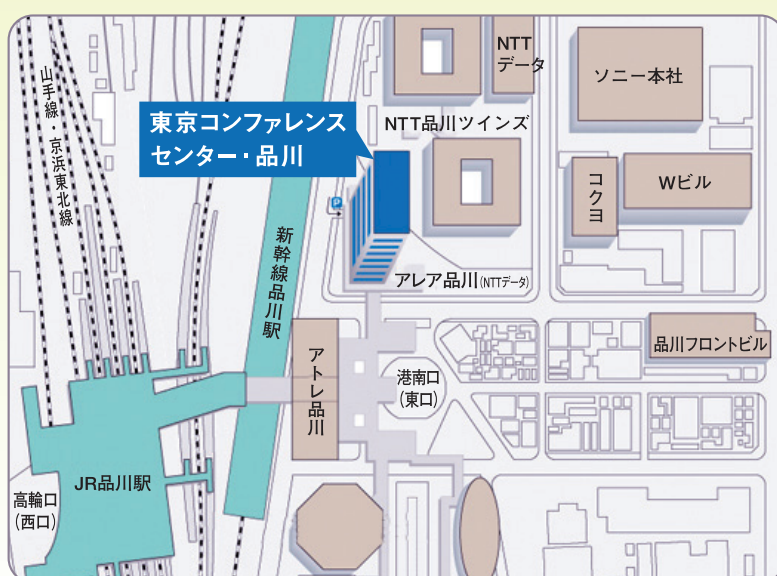
会長：嶋田 昌彦 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔顔面痛制御学分野)

会場案内

東京コンファレンスセンター・品川

東京都港区港南 1-9-36 アレア品川

TEL 03-6717-7000



アクセス

● JR 品川駅港南口（東口）より徒歩2分

港南口を出てそのまま左手にお進みください。（地上に降りません）歩道橋で道路を渡りますと、アレア品川の2F正面入口がございます。2F入口より館内にお入りいただき、正面のエスカレーターをご利用ください。（5Fに受付がございます）

●羽田空港から

羽田空港→品川（京浜急行利用）約20分

●東京駅から

東京→品川（JR 利用）10分

連絡先：

第30回日本疼痛漢方研究会学術集会共催事務局

〒107-8521 東京都港区赤坂2丁目17番11号

株式会社ツムラ 学術企画部内

TEL 03-6361-7187 FAX 03-5574-6668

*緊急連絡先

TEL 03-5418-7773 <6/30(金)17:00~7/1(土)8:00>

当日8:00以降は、直接会場にご連絡ください。